

題名は左寄せ ×中央揃え

副題は改行して、
次行へ

(続紙 1)

京都大学	博士 (地域研究)	氏名	亜阿 花子
論文題目	アジア・アフリカ地域研究における正しい論文の方法論的考察 - 要旨の記述における表記法をめぐって -		

(論文内容の要旨)

- (全角)
× - (半角)

1行空けて、本文開始

英文題目の場合は、() 内に和訳を
入れること。和訳も、主題と副題は改
行する

主査・副査の皆さまへ

博士論文の内容及び審査結果の要旨の表記法につ
いて、できるだけ書式を統一するために、細かな
点についても指針を決めましたので、執筆の際に
ご参照下さい。

(平成28年3月3日、専攻長会議決定)

1頁 = 38字×36行、字間1.15、
11ポイント 明朝体
英文・数字はTimes New Roman

2頁目の枠の下線は、ページの下まで伸ばさず、文末
が1行分だけ空くようにして移動してください

最初の行は空けないこと

数字・英字はすべて半角

両端揃えになっているので、行末が揃っています

(続紙 2)

(論文審査の結果の要旨)

1行アケ

1行38字、明朝11ポ

[例]

第1章では、持続型生存基盤論の観点から「熱帯乾燥域」に属する当該地域の特質を描き出している。この特質の把握は、当該地域における難民問題の理解にとって重要であるのみならず、流入した難民が水の乏しい国境地帯に長期滞在せず、都市部に移動して、都市に変容をもたらすという実態を理解する上でも肝要である。

本論文の学術的な意義は、以下の3点である。

第一に、民主化以降の同地域において…

空白が生じています。両端揃えにしてください

左右ともに、1字分のスペースを作らないこと

カンマではなく「、」で

[例] (よくない例)

第1章では、持続型生存基盤論の観点から「熱帯乾燥域」に属する当該地域の特質を描き出している。この特質の把握は、当該地域における難民問題の理解にとって重要であるのみならず、流入した難民が水の乏しい国境地帯には長期間滞在せず、都市部に移動し、都市に変容をもたらすという実態を理解する上でも肝要である。

本論文の学術的な意義は、以下の3点である。

1. 民主化以降の同地域において…

ピリオドでなく「。」で

箇条書きは用いないでください

線から1字分のスペース (作らないでください)

[例] ……きわめて優れた研究成果と評価され、地域研究に対する大きな貢献をなしている。

よって、本論文は博士(地域研究)の学位論文として価値あるものと認める。また、平成28年2月3日、論文内容とそれに関連した事項について試問を行った結果、合格と認めた。

なお、本論文は、京都大学学位規程第14条第2項に該当するものと判断し、公表に際しては、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものとすることを認める。

1行空け

「よって」の前に来る段落は、論文が博士学位に値する優れた成果であることを結論付けるところです。単なる前望的な可能性などの表現だけで終わらないようにしてください

2頁目の枠の下線は、ページの下まで伸ばさず、文末が1行分だけ空くようにして移動してください